

 芝浦工業大学 SHIBaura INSTITUTE OF TECHNOLOGY 2023年度グローバルPBL(受入)実施報告					
SIT+AIT+KU+KMUTT+HUCE gPBL : 自然災害から地域を守るための環境・防災・減災技術に関するワークショップ					
実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年2月26日 ～2024年3月6日	日本	芝浦工業大学 アジア工科大学院 カセサート大学 モンクット王工科大学 トンブリー校 ハノイ工科大学	・土木工学科、 社会基盤学専攻 ・学部1年生、 学部2年生、 学部3年生、 学部4年生、 修士1年生、 修士2年生	【芝浦工業大学】 学生59名、学生バイト10名、教 員1名、職員1名 【アジア工科大学院】 学生12名、教員2名、職員1名 【カセサート大学】 学生39名、教員3名、職員2名 【モンクット王工科大学トンブ リー校】 学生14名、教員1名 【ハノイ工科大学】 学生10名 ※計155名	稲積真哉 (土木工学科)



図1 集合写真

芝浦工業大学豊洲キャンパスで、“自然災害から地域を守るための環境・防災・減災技術”をテーマにしたグローバルPBLを実施した。このグローバルPBLには、芝浦工業大学の土木工学科を中心に59名、アジア工科大学院から12名、カセサート大学から39名、モンクット王工科大学トンブリー校から14名、そしてハノイ工科大学から10名の、合計134名の土木系学生が参加した。グローバルPBLの期間中、テーマに沿った現場見学を2回実施し、特別講演などの共通イベントに加え、10のグループに分かれて各グループの活動を展開した。

各グループは、“自然災害から地域を守るための環境・防災・減災技術”をテーマに共有・討議し、その成果を最終発表会で披露した。日本、タイ、ベトナムにおける洪水の原因と対策技術の違いや、各国の地滑り対策など、グローバルPBLを通じて学んだ知識や研究内容を巧みにまとめて発表しました。発表では、学生らしい斬新なアイデアが随所に見られ、参加者全員がグローバルな視点を通じて土木工学が果たす役割を再認識する機会となった。

現場見学では、あおみ建設株式会社が主催する茨城県常陸那珂港の整備プロジェクトと、株式会社SST協会が主催する千葉県内での地盤改良プロジェクトを訪れた。参加者は、茨城県のプロジェクトを通じて大きな港湾整備を目の当たりにし、特に海外からの学生は日本の技術力を高く評価した。千葉県でのSST地盤改良工法を見学した際、参加学生は日本が誇る先進技術に触れることができた。

さまざまな土木分野で活躍する研究者や技術者からの貴重な講演もあり、参加学生にとって大変有意義な情報源となった。



図2 聴講中の学生



図3 グループ活動の様子



図4 現場見学の様子 (1)



図5 現場見学の様子 (2)



図6 最終発表中の学生 (1)



図7 最終発表中の学生 (2)